

は し が き

大学をはじめとする高等教育機関では、TOEIC の導入がますます盛んになっています。TOEIC のスコアは大学において、具体的な英語力を測る指針として重要視されつつあります。大学入試、単位取得、編入学、さらに就職活動の際にも TOEIC スコアは英語力を測るひとつの目安となっています。また、将来グローバルな社会で活躍できる人材育成のために TOEIC は多くの企業で高く評価されています。そのため、ちまたでは TOEIC 対策のための問題集や参考書があふれています。

本書は、スコアの向上に対応しつつ、着実に英語の基礎力を養成することを目的とした大学生のための TOEIC 対策テキストです。扱う文法項目やトピックはもちろん、Part 1 から Part 7 まで TOEIC の出題傾向を徹底分析し、最頻出のものを厳選しましたが、その他にも、学習者に配慮して以下のような工夫をしました。

まず、大学生が TOEIC の学習をする上で大きな壁となるのが、オフィスでの会話や E メールなど、慣れないビジネスのシチュエーションや文書スタイルです。そこで本書では、リスニング問題や Part 7 の文書にイラストや図解を盛り込み、学習者が効果的に聞き取りや読解のポイントをつかめるようにしました。TOEIC 対策テキストとはいえ、イラストや図解を使用することにより、ペアワークなどを利用してコミュニケーション的な授業展開をはかることが可能となっています。

次に、基本的な文法事項の理解も重要です。本書では、文法解説 (Grammar Tips) を各章の最初のページに用意しました。実際の TOEIC の学習に入る前に、効果的に文法事項のおさらいをすることができます。

さらに、TOEIC 初心者でも無理なく学習を続けられるよう、問題の一つ一つにヒントを用意し、Part 7 の文書に出てくる難しい単語には Notes をつけました。演習問題は Warm Up と Let's Try! の 2 段階構成となっており、基礎から発展へとスムーズな流れで学習に取り組むことが可能です。

TOEIC は基礎的な英語力を強化し、問題形式に慣れれば、スコアアップが比較的容易に達成できるテストです。まず本書で TOEIC 対策の必須項目をマスターし、さらには総合的な英語力の養成にも取り組んでください。TOEIC 初心者の皆さんも、スコアの伸びを実感すれば、手ごたえを感じるはずですよ。

本書が皆さんの TOEIC 学習の一助になれば幸いです。

2014 年 春 著者

本書の構成と使用法

各章の構成は以下のようになっています。

▶ **Grammar Tips**

各章で扱う文法項目の基本的な知識をおさらいします。

▶ **Part 5, 6 Check the Grammar**

短文穴埋め問題である Part 5、長文穴埋め問題である Part 6 の問題を学習します。
(Part 6 は Unit 8, 12 のみで扱います)

▶ **Part 1 Look at the Pictures**

写真描写問題である Part 1 の練習をします。Warm Up では、スクリプトはテキスト上に表示されていますが、一部が穴埋め問題になっています。ディクテーションを行った後、Let's Try! で TOEIC 形式の演習問題に取り組みます。

▶ **Part 2, 3, 4 Listen to the Questions / Conversations / Short Talks**

Warm Up では、TOEIC 形式の英文 [応答問題 (Part 2)、会話問題 (Part 3)、説明文問題 (Part 4) のうちの 1 種類] を聞きます。スクリプトはテキスト上に表示されていますが、一部が穴埋め問題になっています。イラストをヒントにしてディクテーションを行い、その後の Let's Try! で TOEIC 形式の演習問題に取り組みます。Part 2, 3, 4 のいずれかを章ごとに扱います。

▶ **Part 7 Read the Documents**

長文読解問題では、まず Warm Up で TOEIC に頻出する様々な文書の形式を図解で学びます。それぞれの文書の特徴を把握した後、Let's Try! で同じようなタイプの問題に挑戦し、応用力をつけます。

なお、本書の Unit 1 と Unit 15 はそれぞれ Pre-Test, Post-Test となっています。学習を始める前の実力診断テストや、実力の伸びを計るための力試しとしてぜひご活用ください。

Contents

はしがき
本書の構成と使用法
CheckLinkについて
TOEIC® テストについて

Unit 1 Pre-Test 1

Unit 2 Daily Life 8

- Part 5** 品詞
- Part 1** 現在進行形に注意する
- Part 2** 自然な受け答えを探す
- Part 7** Eメール

Unit 3 Airport 14

- Part 5** 時制
- Part 1** 時制に注意する
- Part 3** 空港での会話
- Part 7** 宣伝文

Unit 4 Traffic 21

- Part 5** 自動詞・他動詞
- Part 1** 一人の人物が写っている写真の場合
- Part 4** 交通情報のアナウンス
- Part 7** 告知文

Unit 5 Hotel 28

- Part 5** 主語と動詞の一致
- Part 1** 身体的な特徴や服装に注意する
- Part 2** Wh-疑問文
- Part 7** アンケート

Unit 6 Bank 34

- Part 5** 受動態
- Part 1** 人物の動作や行為に注意する
- Part 3** オフィスでの会話
- Part 7** 新聞記事

Unit 7 Office 41

- Part 5** 不定詞・動名詞
- Part 1** There is/are ... 構文
- Part 4** パーティでのスピーチ
- Part 7** 電話連絡メモ

Unit 8 Meeting	48
Part 6 分詞	
Part 1 複数の人物が写っている写真の場合	
Part 2 Yes/No疑問文	
Part 7 社内メモ	
Unit 9 Employment	54
Part 5 可算名詞・不可算名詞	
Part 1 似た音をもつ単語	
Part 3 人事に関する会話	
Part 7 求人広告	
Unit 10 Factory	61
Part 5 代名詞	
Part 1 物が主語となる場合	
Part 4 ツアーのアナウンス	
Part 7 リコールに関する通知文	
Unit 11 Order	68
Part 5 関係詞	
Part 1 物の状態を表している写真の場合	
Part 2 付加疑問文	
Part 7 苦情文／謝罪文 (Double Passage)	
Unit 12 Contract	76
Part 6 接続詞・前置詞	
Part 1 人物の共通する行為に注目する	
Part 3 契約に関する会話	
Part 7 申込書	
Unit 13 Business	83
Part 5 比較	
Part 1 人と物が混在している写真の場合	
Part 4 社内放送	
Part 7 日程表	
Unit 14 Health	90
Part 5 仮定法	
Part 1 乗物が写っている写真の場合	
Part 2 平叙文の問いかけ	
Part 7 求人広告／Eメール (Double Passage)	
Unit 15 Post-Test	98

Grammar Tips — 品詞 —

英語の単語は、働きによっていくつかのグループ（品詞）に分類することができます。ここでは、基本となる品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞）の働きについて確認しておきましょう。

This room is very comfortable. (この部屋はとても快適です)

名詞 動詞 副詞 形容詞

名 詞：人や物の名前を表す。主語、目的語、補語になる。

動 詞：主語の動作、状態を表す。一般動詞と be 動詞がある。

形容詞：人や物の性質、状態を表す。名詞を修飾したり、補語になったりする。

副 詞：頻度、程度、時などを表す。動詞、形容詞、他の副詞を修飾する。

また、文頭や文末において文全体を修飾する働きもある。

単語を覚える際には、同じ語から派生した異なる品詞も一緒に覚えると効果的です。例えば、「～に集中する」という意味の動詞 **concentrate** の場合には、次のように **concentration** (名 集中)、**concentrative** (形 集中的な) と変化します。



Quiz

空所に適する選択肢を選んで、英文を完成させましょう。



Ms. White _____ on playing the piano for 30 minutes.

(Whiteさんは30分間ピアノを演奏することに集中しました)

- (A) concentration
- (B) concentrating
- (C) concentrated
- (D) concentrative

Part 5

Check the Grammar

ココを Check

Part 5 の品詞問題は、名詞・動詞・形容詞・副詞の中から空所に適切な品詞を選択するというものです。ですから、動詞を覚える時は名詞・形容詞・副詞も同時に覚えてしまいましょう。品詞を見分ける時は接尾辞（単語の語尾）に注意すると良いでしょう。

Let's Try!

空所に適する選択肢を選んで、英文を完成させましょう。



- The Statue of Liberty is a _____ of the United States.
 (A) symbolism (B) symbolic (C) symbolize (D) symbol
 💡 a の後ろにくるのは？
- Some of the discount tickets for Cinema Zone are not _____ anymore.
 (A) avail (B) avails (C) availability (D) available
 💡 be 動詞の後ろにくるのは？「利用できない」という意味の文になるのは？
- This vacuum cleaner is very _____ because it uses very little electricity.
 (A) economy (B) economics (C) economical (D) economically
 💡 電気の使用量が少なければ…？
- The art gallery near Rainbow Lake is temporarily closed for _____.
 (A) renovation (B) renovator (C) to renovate (D) renovate
 💡 前置詞 for の後ろにくるのは？
- The customer was _____ satisfied with the information provided by Lemon Mall.
 (A) sufficient (B) sufficiently (C) sufficiency (D) suffice
 💡 「十分に満足した」という意味になるのは？

Part 1

Look at the Pictures

ココを Check

写真は現在の動作を表している場合がほとんどですので、**現在進行形**〈**be 動詞 + -ing**〉がよく用いられます。問題を解くときには、写真の人物や物の動作に注目しましょう。この他にも**写真の場景、場所を表す語句** (on the street など) を覚えておく必要があります。

Warm Up

CheckLink DL 12 CD1-17 CD1-18

音声を聞いて、適切な語を空所に記入しましょう。また、(A)(B)のうち、写真の状況を正しく描写している選択肢を選びましょう。



(A) The man (**i**) (**p**) the guitar on the street.

(B) Some people are (**p**) (**m**) (**i**).

Let's Try!

CheckLink DL 13 CD1-19

音声を聞いて、写真の状況を正しく描写している選択肢を選びましょう。



(A) (B) (C) (D)

💡 写真の人々の動作は？

Part 2

Listen to the Questions

ココを Check

Part 2 は、質問文に対して自然な受け答えとなっている応答文を選ぶ問題です。質問文で使われているものと全く同じ語が応答文に用いられる場合は、誤りであることが多いことに注意しましょう。

Warm Up



DL 14

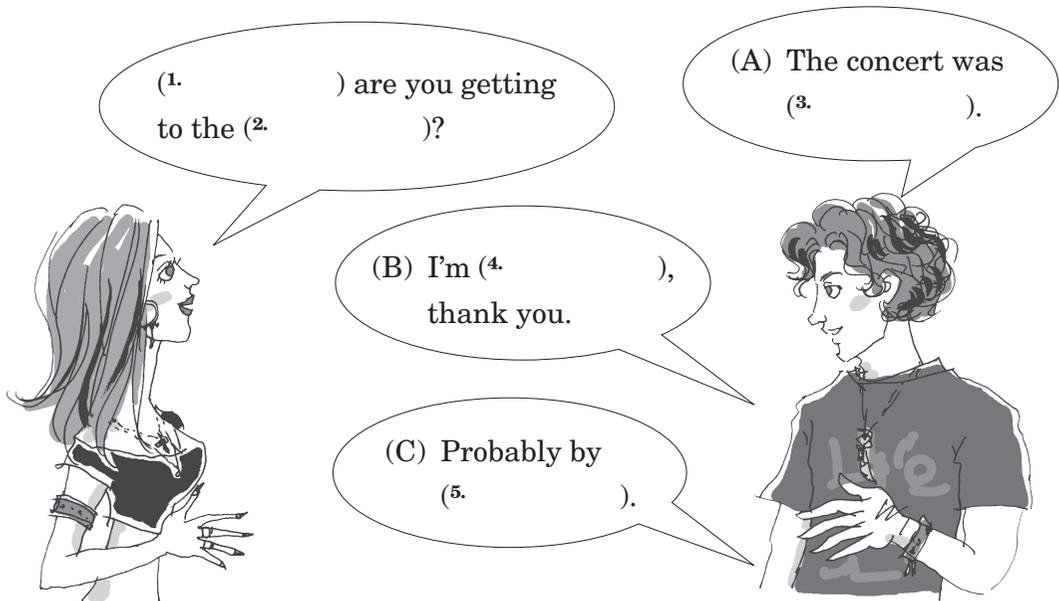


CD1-20 ~



CD1-23

音声を聞いて、適切な語を空所に記入しましょう。また、(A)(B)(C)のうち、質問の応答として適切な選択肢を選びましょう。



Let's Try!



DL 15~17



CD1-24 ~



CD1-26

音声を聞いて、質問の応答として適切な選択肢を選びましょう。

1. (A) (B) (C) 💡 応答としてつじつまの合うものを選ぼう！
2. (A) (B) (C) 💡 時制に注意！
3. (A) (B) (C) 💡 問われているのが「時」であることに注目する。

Part 7

Read the Documents

ココを Check

Part 7 で非常によく出題されるのが **Eメール** です。Eメールでは、**送信者 (Sender)**、**受信者 (Receiver)**、**送信日 (Date)**、**用件 (Subject)**などを把握することが大切です。

Warm Up

次の Eメールを読み、下の質問に答えましょう。



From: Robert Todds <bobtodds@tnet.uk>
To: Andrew Carson <andrew@msit.pcm>
Date: June 8
Subject: Next Saturday

送信者 (From)、受信者 (To)、送信日 (Date)、用件 (Subject) などの基本的な情報をここで把握しよう！

Hi Andrew,

最初の文で用件が明確に伝えられている

Our football team members are having lunch next Saturday. I am not sure if you can make it, because you have not come to daily workouts for more than two weeks.

Except for Mr. Tanaka, all members will be there, so I hope you will join us. From tomorrow I'll be in New York for a few days on business, so if you have any questions, please e-mail me and I'll get back to you as soon as I can.

受信者にどうしてほしいのか、送信者の意図が読み取れる

I am looking forward to hearing from you.

Regards,

Robert

メールの最後は、結びの挨拶と署名で締めくくられる

Who received the e-mail?

- (A) All of the football team members
- (B) Andrew
- (C) Robert
- (D) Mr. Tanaka

Let's Try!

次のEメールを読み、下の質問に答えましょう。



Questions 1-2 refer to the following e-mail message.

From: Mika Honda <mhonda@cot.com>
To: Tom Black <tblack@skynet.com>
Date: Thu, March 10
Subject: Sunday's party

Hi Tom,

As you know, our high school reunion will be held at the Japanese restaurant on Green Street this Sunday.

The party will start at 6 P.M. I wonder if you could give me a ride, because there has been something wrong with my car since last night. I hope we can go there together.

I look forward to hearing from you soon.

Sincerely,

Mika

Note : high school reunion (高校の同窓会)

1. What is the purpose of the e-mail?

- (A) To help Tom with his work
- (B) To invite Tom to Mika's birthday party
- (C) To recommend a Japanese restaurant
- (D) To ask Tom for a ride

2. Where will the party take place?

- (A) At Mika's house
- (B) At Tom's house
- (C) At a Japanese restaurant
- (D) At a company cafeteria